

別紙

1 公演等（コンサート、演劇、講演会等）開催時における感染防止対策

【主催者として講じるべき対策】

- 来場者の体温測定を実施するとともに、次の項目に該当する場合は入場を制限する。
 - ・ 来館前に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合、または平熱+1℃以上の熱がある場合
 - ・ 軽度であっても咳、喉の痛み等の症状がある場合
 - ・ 強いだるさや息苦しさがある場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
 - ・ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居する家族等が上記いずれかの項目に該当する場合
- 来場者及び公演スタッフともにマスク着用や手指消毒を徹底する。
- 客席は最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を開けて配置する。固定席の場合は最低1座席（左右は2座席を推奨）間隔を空け、使用させない座席はその旨を標示する。
- 会場入口等に行列が生じる場合は、最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないような対策をとる。また、退場の際も密集・密接をできるだけ回避する方法をとる。
- 受付やチケット販売、人と人が対面する場所は、アクリル板や透明のビニールカーテン等で遮断するとともに、金銭やチケットの受渡しを行う際は手袋を着用する。
- 演者のグッズ販売やサイン会、握手会等は行わない。
- 公演等の前後や休憩中などに、会場のドアを開放するなどして換気を行う。
- 公演等のポスター、チラシ等に感染症予防対策の実施と来場者への協力を明記する。
- 来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し名簿を作成する。また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを促すとともに、施設毎に「北海道コロナ通知システム」のQRコードを掲示し、来場者にメールアドレスの登録を促す。

【来場者にお願いする事項】

- 軽度であっても咳や喉の痛みなどの症状がある場合や、強いだるさや息苦しさを感ずるなど、体調に異変のある場合は入場を控える
- 施設内での常時マスク着用
- 入退館時の手洗い又は手指消毒
- 入場時の検温及び氏名や連絡先等の記入
- 施設内での社会的距離の確保（来場者同士の会話や接触を控える）
- 会場内における大声での声援や歌唱等の自粛
- 「北海道コロナ通知システム」へのメールアドレス登録及び接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

2 スポーツ大会等開催時における感染防止対策

【主催者として講じるべき対策】

- 参加者等の体温測定を実施するとともに、次の項目に該当する場合は参加を制限する。
 - ・ 来館前に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合、または平熱+1℃以上の熱がある場合
 - ・ 軽度であっても咳、喉の痛み等の症状がある場合
 - ・ 強いだるさや息苦しさがある場合
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
 - ・ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居する家族等が上記いずれかの項目に該当する場合
- なお、チーム単位で参加する場合は、参加者の検温等体調確認はチームごとに義務付けることでも可能とする。その際、受付時に代表者が体調確認等の結果を申告する。
- 参加者及びスタッフともにマスク着用や手指消毒を徹底する。なお、運動・スポーツ中のマスク着用は参加者の判断とする。なお、高温や多湿の環境下においては、熱中症予防の観点から、周囲の人との距離を確保できる場合はマスクを外すようにする。
- 椅子を配置する際は最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を開けるように努め、人々との距離を確保する。
- 会場入口等に行列が生じる場合は、最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫を行う。また、退場の際も密集・密接をできるだけ回避するよう工夫する。
- 受付等、人と人が対面する場所は、アクリル板や透明のビニールカーテン等で遮断する。
- 屋内の場合は、競技に支障のない範囲で、会場内の窓やドアを開放して換気を行う。競技中の換気が難しい場合は、競技の前後や休憩時間に換気を行う。
- 更衣室、休憩・待機スペースは広さにゆとりを持たせ、参加者同士が密になることを避ける。
- 更衣室などゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する。
- 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子など）については、こまめに消毒を実施する。
- 観客を入れる場合は最小限の人数とし、観客同士が密な状態とならないような対応をとる。
- 参加チームや観客等には、不要な会話や接触、大声での声援を控えるよう周知する。
- 開催要項等に感染症予防対策の実施と来場者への協力を明記する。
- 参加者及び大会等のスタッフの氏名及び緊急連絡先を把握し名簿を作成する。また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 施設毎に「北海道コロナ通知システム」のQRコードを掲示し、来場者にメールアドレスの登録を呼び掛ける。

【来場者にお願いする事項】

- マスクの着用（スポーツを行っているときを除く）
- 手洗い・手指消毒の徹底
- 検温への協力
- 氏名や連絡先の記入等協力
- 社会的距離の確保（人との会話や接触をできるだけ控える）
- 選手等への声援の自粛
- 「北海道コロナ通知システム」へのメールアドレス登録及び接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード